

回
覧

里庄町立 図書館ニュース



原田 姫寧さん 「夕日の下でたこあげをしたよ！」

第380号 令和7年1月

お知らせ

館内利用について

皆様に快適にご利用いただけるよう次の点にご留意ください。

- ・新聞や雑誌を長時間独占しないようにお願いします。
- ・最新号の雑誌は一誌ずつご利用ください。
- ・当日の新聞も一紙ずつご利用ください。
- ・携帯電話のご利用はご遠慮ください。

「ふくちゃん 読書手帳」のご利用を



読んだ本を記録するための読書手帳です。読書手帳をつければ、「この本読んだっけ?」「読んだ本だった!」「読んだ本が思い出せない!」などの悩みがなくなり便利です。また、自分の読書歴を作成し、振り返ることができます。

読書手帳は、図書館カウンターにあります。どうぞご利用ください。

なお、50冊、100冊読んだ方には、図書館オリジナルグッズをさしあげます。さらに、200冊、300冊と、どんどん読み進めてくだされば幸いです。100冊追加ごとにプレゼントも待っています。

お願い

図書館の本は町民みんなの財産です。

- ・大切に扱いましょう。
- ・返却期限を守りましょう。
- ・無断で持ち出さないようにしましょう。

☆万一、壊れたり、破れたりしたときは、自分で直さないで、返却時に職員にお知らせください。

「佐藤清明」特設サイト

佐藤清明（さとうきよあき、通称せいめいさん：1905～1998）は、日本で初めての妖怪事典を出版した里庄町出身の博物学者です。彼の業績を研究するための団体「佐藤清明資料保存会」の活動の様子などを紹介しています。知られざる知の巨人「佐藤清明」に興味のある方、里庄に関係のある方は、ぜひ里庄町立図書館のホームページの特設サイトをご覧ください。

里庄町立図書館の障がい者サービス

① デイジー図書（耳で聞く図書）の貸出サービス

視覚障がい者の方、視覚による表現の認識に障がいがある方、寝たきりや麻痺等により図書を持ったり、ページをめくったりできない方やできにくい方にご利用いただけるサービスです。ぜひご利用ください。

② 読書が困難な方、障がいのある方へのサービス

- ・大活字本（大きな活字で書かれた本です）
- ・点字の本（目の不自由な方が指先でさわって読む本です）
- ・LLブロック（簡単な言葉、絵や写真を使ってやさしく読める本です）
- ・朗読CD（物語や落語を聞いて楽しめます）
- ・拡大読書器（モニターに文字を大きく写して読めます）
- ・拡大鏡・老眼鏡（カウンターに用意しています）
- ・簡易筆談器（耳に障がいをお持ちの方用の筆談器です）
- ・車いす（館内で利用できます）・多目的トイレ（どなたでも利用できます）
- ・エレベーター（階段の向かい側にあります）

※視覚障がい者の方等への録音図書の無料郵送貸出サービスをご利用される場合、障がい者等サービスの登録が必要です。詳しくは図書館までお問い合わせください。

マイナンバーカードでの利用サービス

マイナンバーカードで、図書館の本を借りることができます。

【利用手続き】

次の2つのカードを図書館カウンターにお持ちください。

マイナンバーカードに図書館利用者番号を登録します。

①里庄町立図書館利用者カード

②マイキーID発行済みのマイナンバーカード

※一度登録していただくとマイナンバーカード貸出サービスが受けられます。

※本の予約等は利用者番号が必要です。利用者カードは捨てないでください。

※初回のみ暗証番号の入力が必要です。

行事予定

◎ 1 月 特設展示（干支の本特集）

- 1 日（水） **元日 年始休館日**
- 2 日（木） **年始休館日**
- 3 日（金） **年始休館日**
- 4 日（土） 新春図書館福袋 2025 おはなしトトロ 14：00～
- 5 日（日）
- 6 日（月）
- 7 日（火） **休館日**
- 8 日（水）
- 9 日（木）
- 10 日（金） エルマーの工房 13：30～
- 11 日（土） おはなしトトロ 14：00～
- 12 日（日） ちぎり絵教室「紙遊会」9：00～ 組み木の広場「木楽工房」10：00～
おはなし会 10：30～
- 13 日（月） **成人の日** 17：00 閉館
- 14 日（火） **休館日**
- 15 日（水）
- 16 日（木）
- 17 日（金） エルマーの工房 13：30～
- 18 日（土） 清明研 13：30～ おはなしトトロ 14：00～
里ちゃんチャレンジワールド「大原焼に挑戦作品展」～26日
- 19 日（日） **休館日**
- 20 日（月）
- 21 日（火） **休館日**
- 22 日（水） 年賀状傑作展 ～30日
- 23 日（木）
- 24 日（金） エルマーの工房 13：30～
- 25 日（土） おはなしトトロ 14：00～
- 26 日（日）
- 27 日（月）
- 28 日（火） **休館日**
- 29 日（水）
- 30 日（木）
- 31 日（金） **月末整理休館日**

2 月 特設展示（大河ドラマ関連本）

- 1 日（土） 幼稚園児作品展（～9日） おはなしトトロ 14：00～
- 2 日（日）
- 3 日（月）
- 4 日（火） **休館日**
- 5 日（水）
- 6 日（木）
- 7 日（金） エルマーの工房 13：30～
- 8 日（土） おはなしトトロ 14：00～
- 9 日（日） ちぎり絵教室「紙遊会」9：00～ 組み木の広場「木楽工房」10：00～
おはなし会 10：30～

10日(月) 合同作品展(～23日)
 11日(火) **休館日**
 12日(水)
 13日(木)
 14日(金) エルマーの工房 13:30～
 15日(土) おはなしトトロ 14:00～ 第5回清明を読む会 13:30～
 清明研 14:40～
 16日(日) **休館日 建国記念の日**
 17日(月)
 18日(火) **休館日**
 19日(水)
 20日(木)
 21日(金) エルマーの工房 13:30～
 22日(土) おたのしみ会 14:00～15:00
 おはなしトトロ 14:00～
 23日(日) **天皇誕生日** 17:00閉館
 24日(月) **振替休日** 17:00閉館
 25日(火) **休館日**
 26日(水)
 27日(木)
 28日(金) **月末整理休館日**

展示・催し案内

◎特設コーナー

1月

場 所 カウンター前の特設架
 内 容 干支の本特集

2月

場 所 カウンター前の特設架
 内 容 大河ドラマ関連本

◎新春図書館福袋2025 ※貸し出し用です。

日時 1月4日(土) 10時～
 場所 1階 ロビー
 内容 限定50袋 (なくなりしだい終了)
 図書館職員がテーマを決めて選んだ本を袋に詰めました。
 どんな本が入っているかは、お楽しみ。

◎おはなし会

日時 1月12日(日)・2月9日(日) 10:30～11:00
 場所 1階 おはなしの部屋
 内容 図書館司書の読み聞かせ

◎里ちゃんチャレンジワールド「大原焼に挑戦作品展」

期間 1月18日(土)～26日(日) 10:00～18:00
 場所 1階 ロビー
 内容 大原焼の紹介パネルと子どもたちが作った大原焼を展示。

◎「年賀状傑作展」

期間 1月22日(水)～30日(木) 10:00～18:00
 場所 2階 展示室

◎幼稚園児作品展

期 間 2月1日（土）～ 9日（日） 10：00～18：00

（最終日は17：00まで）

場 所 2階 展示室

内 容 里庄町内の幼稚園児の作品を展示。

◎合同作品展

期 間 2月10日（月）～ 23日（日） 10：00～18：00

（最終日は15：00まで）

場 所 2階 展示室

内 容 組木工房、ちぎり絵の紙遊会の作品を展示。

◎第5回 清明を読む会

日 時 2月15日（土） 13：30～14：30

場 所 2階 視聴覚室

演 題 「清明さんの方言調査」（仮題）

講 師 安部 郁雄 氏（佐藤清明資料保存会会員）

定 員 40名（要予約）

※ 参加ご希望の方は図書館までお問い合わせください。

◎おたのしみ会

日 時 2月22日（土） 14：00～15：00

場 所 2階 視聴覚室

対 象 幼児～一般

定 員 40名（要予約 応募者多数の場合は抽選）

図書館ボランティア どなたでも参加できます。お手伝い下さい。

◎おはなしボランティア「おはなしトロ」

・日時 毎週 土曜日 14：00～

・内容 町内の幼稚園・小学校でのおはなし宅配便や図書館での読み聞かせなどの準備や練習

◎手づくりボランティア「エルマーの工房」

・日時 毎週 金曜日（祝日を除く） 13：30～

・内容 図書館内の季節ごとの装飾、図書館行事のプレゼントや賞品の作製

趣味の会・学習会 新入会員募集中です。

◎組木の広場「木楽工房」

・日時 毎月第2日曜日 10：00～16：00

・内容 組木作製 ＊材料費実費負担

◎ちぎり絵教室「紙遊会」

・日時 毎月第2日曜日 9：00～16：00

・内容 ちぎり絵作製 ＊材料費実費負担

◎清明研究会

日時 毎月第3土曜日 13：30～ 2時間程度

会場 里庄町立図書館 2階視聴覚室

内容 佐藤清明についての研究、資料の整理など

新着本の案内

大人の本

11月に購入した図書の一部です。

◎日本の小説

▽青い絵本 (桜木 紫乃著：実業之日本社)

作家、編集者、セラピスト、書店員。さまざまな形で絵本にかかわる人々が、絵本を通じて過去と対話し再生する姿を、静謐な筆致で紡ぎだす。表題作ほか全5話収録の作品集。

▽いのちの波止場 (南 杏子著：幻冬舎)

診療所の看護師・麻世は、能登半島の穴水にある「能登さとうみ病院」の緩和ケア病棟の看護実習で、「ターミナルケア」について学ぶ。震災前の能登半島の美しい風景とともに、様々な旅立ちを綴る長編小説。

▽おきざりにした悲しみは (原田 宗典著：岩波書店)

おれはもうおじさんではなく、おじいさんだ。様々な思いをおきざりにして生きてきた長坂誠、65歳。その運命の歯車が、或る姉弟との出会いから動き出し…。吉田拓郎の名曲にのせて贈る、昭和の香り漂う令和の物語。

▽鎌倉駅徒歩8分、また明日 (越智 月子著：幻冬舎)

鎌倉の古い洋館でシェアハウス「おうちカフェ」を始めた香良。訳ありで個性豊かな住人たちと楽しく穏やかに暮らしていたが、そんな日々も永遠には続かなくて…。

▽恋とか愛とかやさしさなら (一穂 ミチ著：小学館)

プロポーズされた翌日、恋人が盗撮で捕まった。信じるとは、許すとは、愛するとは何かを問い、男と女の欲望のブラックボックスに迫る恋愛小説。

▽坂の中のまち (中島 京子著：文藝春秋)

江戸川乱歩「D坂の殺人事件」の別解(!?)、安部公房「鞆」を再現する男との邂逅、夏目漱石「こころ」みたいな三角関係…。風変わりな人たちと、書物がいろどるガールミーツ幽霊譚。

▽サンナムジャ ヤンキー男子がK-POPに出会って人生が変わった件

(浜口 倫太郎著：小学館)

焼き肉店「サンナムジャ」からツケを支払うように迫られたヤンキー高校生の貫太。同店の常連・七海は、貫太にいいアイデアを思いついたと伝える。貫太の高校で韓国語部の顧問を務める七海は、実は元 K-POP アイドルで…。

▽雫 (寺地 はるな著：NHK 出版)

中学の卒業制作で出会った4人の同級生たち。30年後、ビルの取り壊しに伴ってひとつのジュエリーリフォーム会社が営業を終え、4人は再会し…。日常のささいな不安や違和感を丁寧にすくい取る、“つながり”と再生の物語。

▽死神 (田中 慎弥著：朝日新聞出版)

うだつの上がない「作家」である私の人生の折々に登場してくる、死神。中学2年生で初めて出会ったあいつのことだけは、これまで作品には書けなかったのだが…。

▽小説 (野崎 まど著：講談社)

5歳で読んだ「走れメロス」をきっかけに、内海集司の人生は小説にささげられることになった。12歳の時生涯の友と出会い、2人は小説家が住んでいるというモジャ屋敷に潜り込む。その屋敷にはある秘密があった…。

▽死んだ木村を上演 Perform Kimura the Departed (金子 玲介著：講談社)

啓栄大学演劇研究会卒業生4人の元に届いた脅迫状。「誰が木村を殺したのか、8年前の真実を知りたいければ、雛月温泉の宿・極楽へ来い」。木村が死んだあの日の夜、4年生だった皆には、それぞれ秘密にしていることがあって…。

▽チェーン・ディザスタース CHAIN DISASTERS (高嶋 哲夫著：集英社)

202X 年 7 月、南海トラフ巨大地震が発生し、東京直下型地震が発生。さらに 8 月には大型台風が首都圏を襲う。閣僚の大半が亡くなり、若き政治家・早乙女美来が総理大臣に抜擢される。そこに富士山噴火の予兆が…。

▽綱を引く (堂場 瞬一著：実業之日本社)

東京・蒲田の綱引きチーム「プルスターズ」は、全国大会優勝の実績も持つが、高齢化や不況の影響で休眠状態。53 歳のキャプテン真島とアイルランドからの留学生ケリーの出会いがきっかけで、チームを立て直すことに…。

▽デートピア DTOPIA (安堂 ホセ著：河出書房新社)

舞台は南太平洋の楽園。ひとりの女を巡る、世界各国 10 人の男たちの争奪戦。恋愛リアリティショー「DTOPIA」の視聴者たちは、やがて「自分だけの DTOPIA」を編集しはじめ。

▽ドヴォルザークに染まるころ (町田 そのこ著：光文社)

廃校が決まった小さな町の小学校。最後の秋祭りに集う人たちの、過去と現在、そして未来が交差する。それぞれの人生を自分らしく懸命に生きる女性たちを描く。

▽ナカスイ! 3 海なし県の水産列車 (村崎 なぎこ著：祥伝社)

栃木県立那珂川水産高校(ナカスイ)3 年の鈴木さくらは、推薦入試に挑もうと学校での実績作りに精を出す。そんなときナカスイの廃校論が再燃。さくらは、「ナカスイ水産列車」を走らせるという妙案を思いつき…。

▽人魚が逃げた (青山 美智子著：PHP 研究所)

「王子」と名乗る謎の青年が銀座の街をさまよい歩き、「僕の人魚がいなくなってしまっ…逃げたんだ。この場所に」と語り、SNS のトレンドになる。その「人魚騒動」の裏では、5 人の男女が「人生の節目」を迎えていて…。

▽眠れない夜のために (千早 茜著、西 淑絵：平凡社)

また今日も、眠れない。深夜にひとり佇む台所の時間、寝静まる街をさまよった日、もう会えない誰かを想う夜。夜の世界へと誘う短編集。

▽ハイパーたいくつ (松田 いりの著：河出書房新社)

職場では 1000 倍の支払いミス。私生活では高額な衣服の買いすぎでクレカ借金。鬱屈アツク窮屈な現実がついに崩壊するとき、壊れた私の壊れた言葉が壊れた風景を呼び起こす…。

▽箱庭クロニクル (坂崎 かおる著：講談社)

ファンタジックな世界観と異国情緒たどよう文体でつづられる、明日への願いと祈りに満ちた短編集。日本推理作家協会賞短編部門受賞作「ベルを鳴らして」など全 6 編を収録。

▽光のそとで白くぬる (待川 匙著：河出書房新社)

10 年ぶりに故郷の田舎町を訪れた「わたし」。墓地へと続く道を進むと、死んだはずの幼なじみ「キイちゃん」の声が語りかけてくる。不確かな記憶が流れ込み、平凡な田舎に呪われた異界が立ち上がる。

▽ひまわり (新川 帆立著：幻冬舎)

33 歳のひまりは交通事故に遭い、頸椎を損傷。役所で就労支援の相談をすると、すすめられたのは生活保護の申請。ひまりは自立を目指し司法試験受験を決意するが…。

▽フラワー・チャイルド Flower Child(西尾 潤著：KADOKAWA)

恋人が行方知れずとなり、さらに母を亡くして打ちひしがれていた実理科。生前、母は謎の青年と会ってから「運命の日がくるの」と口にするようになっていた。その青年こそ、実理科が会いたいと焦がれていた恋人・啓太だった…。

▽街角ファンタジア (村山 早紀著：実業之日本社)

失恋したての青年、亡き祖父を想う少女、行き詰まったイヤミス作家、不器用な本好きの少年、未来が不安な女性ライター…。街の片隅で暮らす人々の心の傷が癒や

されていく全5話。

▽マンダラチャート Mandala Chart (垣谷 美雨著：中央公論新社)

夫の言葉に傷つき、買い物メモの裏に書いたマンダラチャート。書き終えたとたん、63歳の雅美は中学生に戻っていた。令和の生きづらさを解決するため、雅美はどう生き直すのか？

▽ミスター・チームリーダー MR.TEAM LEADER (石田 夏穂著：新潮社)

係長に抜擢された後藤はボディビルの選手でもあり、大会に向けて減量期に入っていた。部内の人材の無駄に切り込み、組織の代謝を上げると減量も進むことに気づき、チームの脂肪除去に邁進し始める…。

▽もの想う時、ものを書くAmy's essay collection since 2000

(山田 詠美著：中央公論新社)

もう会えない人の記憶、夫とのかけがえのない日常、そして文学。2000年以降、各紙誌に発表されたエッセイに加え、文庫解説、芥川賞選評など、すべて初収録。作家が愛するものたちを言の葉にのせた散文集。

▽森田繁子と腹八分 (河崎 秋子著：徳間書店)

自然と農業のちょうどよいところ。伝説の農業コンサルタント・森田繁子(モリシゲ)は今日も腹八分を目指して依頼人の所へかけつけ、「農」にまつわる悩みをズバッと解決！

▽ゆびさきに魔法 (三浦 しをん著：文藝春秋)

月島美佐はネイルサロンを営むネイリスト。爪を美しく輝かせることで暮らしに潤いと希望を宿らせるネイルの魔法を信じてコツコツ働く毎日。そんな月島のもとに今日も様々なお客様がやって来る。

▽隣人のうたはうるさくて、ときどきやさしい (白尾 悠著：双葉社)

心地よい暮らしを作るため住人が協働するコミュニティ型マンション「ココ・アパートメント」。様々な事情を抱えた多世代住人の交流を通して、それぞれの心の変化や新たな歩みを描く連作小説。

▽うそコンシェルジュ (津村 記久子著：新潮社)

「うそ請負人」となったみのり、52歳の誕生日をひとりで静かに祝う佐江子さん、祖父の遺品の幸福な行先を探すえいちゃん…。日常の困ったことどもをやり過ごし、目の前の「今」を生き延びる力をくれる物語 11篇。

◎ホラー・怪談

撮ってはいけない家 (矢樹 純著：講談社)

映像制作会社の杉田はモキュメンタリーホラーのプロットを託される。山梨の旧家で「家にまつわる呪い」のロケを進める中、AD・阿南はフィクションの企画と現実の出来事の共通点に気付いて…。

▽バイト・クラブ Part-time Job Club (小路 幸也著：中央公論新社)

カラオケ屋の一室にある<バイト・クラブ>。集まるのは「暮らし」のためにアルバイトをする高校生たち。部活に入っていないなくても、彼ら彼女らなりの青春を謳歌していた。でもある日…。

◎ 歴史・時代小説

▽ 憧れ写楽 (谷津 矢車著：文藝春秋)

寛政6年に突如として現れ、たった10ヶ月で姿を消した絵師・東洲斎写楽。江戸の大版元・仙鶴堂の主である喜右衛門は、喜多川歌麿とともに正体探しに乗り出す。しかし、写楽を売り出した張本人、蔦屋重三郎に妨害され…

▽新皇将門 (中路 啓太著：光文社) 下鴨神社で暮らす巫女・桔梗は霊視した平将門の姿に心惹かれた。善政を志す潑刺とした偉丈夫だったから。運命の悪戯で桔梗は

坂東へ。やがて将門と出会い、寵愛を一身に受けるが…。

▽草莽の臣（森山 光太郎著：早川書房）

益田一族なかりせば、日本は 4 度、滅びていただろう。白村江の戦い、元寇、秀吉の朝鮮出兵、そして幕末の開国と、外敵から日本を護るため、歴史の裏側で尽力した山陰・益田家の、4 つの時代の人々を描く連作集。

◎推理・ミステリー

▽秋葉断層Akihabara Cold Case（佐々木 譲著：文藝春秋）

1997 年、神田明神下で起こった轢き逃げ事案。被害者は電器店の常務だった。2024 年、未解決だったこの事案に<殺し>の可能性が浮上する。刑事・水戸部は真実を掴めるのか!?

▽朝比奈さんと秘密の相棒 Asahina-san and the secret buddy

（東川 篤哉著：実業之日本社）

学園理事長の娘・朝比奈麗華は大のミステリ好きで、今日も事件現場に出向く。相棒である探偵部員・石橋君は、昼行灯のような捜査ぶりだが、あるとき突然、推理が冴えわたりはじめ…。

▽一目五先生の孤島（大島 清昭著：光文社）

調査会社に就職した倭文は、霊を呼び寄せる特異体質のため、超常現象に特化した変調課に異動になる。変調課メンバーは不審死が相次ぐ五福島に調査に行くが、その島では 30 年前に関係者全員死亡という連続殺人事件が…。

▽命みじかし恋せよ乙女 少年明智小五郎（辻 真先著：東京創元社）

大正 8 年、記者・可能勝郎は、取材のため世田谷村の富豪・守泉家にやってきた。その最中、死体消失、衆人環視下の殺人など、不可能犯罪に巻き込まれる！ 売り出し中の“探偵小僧”明智少年と共に推理を巡らす勝郎だったが…。

▽架空犯（東野 圭吾著：幻冬舎）

燃え落ちた屋敷から見つかったのは、都議会議員と元女優夫婦の遺体だった。華やかな人生を送ってきた二人に何が起きたのか。「白鳥とコウモリ」シリーズ。

▽こぼれ落ちる欠片のために PRAYING FOR THE SPILLED PIECES

（本多 孝好著：集英社）

県警捜査一課の和泉は、女性警官・瀬良とタッグを組み殺人事件の捜査をすることに。待ち受けていたのは、「正しい刑罰」の在り方を問う、予想外の真相だった。

▽猫弁と奇跡の子（大山 淳子著：講談社）

稀代のお人好し弁護士、百瀬太郎。大福亜子と入籍を果たし、まだ式は挙げていないものの、結婚生活にも少しずつ慣れてきた、そんな時。福引きの一等賞で、とんでもない「景品」をもらったという相談が。

▽パンとペンの事件簿（柳 広司著：幻冬舎）

文章に関する依頼であれば、何でも引き受ける「売文社」で働くことになった“ぼく”は、奇妙な依頼や謎に挑み…。1910 年代に実在した組織をモチーフに描く傑作ミステリー。

▽誘拐ジャパン（横関 大著：小学館）

高額報酬につられ、ゴミ屋敷の掃除を引き受けた美晴。そこに現れた大物政治家に「この国の未来のために力を貸してほしい」と持ちかけられたのが、総理の孫を誘拐することで…。

▽リンダを殺した犯人は（伊兼 源太郎著：実業之日本社）

大久保のマンションで若いベトナム人女性「リンダ」の死体が発見された。警視庁捜査一課の女性刑事・春香と男性刑事・遙のコンビが事件を追うと、外国人技能実習制度の深い闇が…。

◎エッセイ・その他

▽**台所で考えた**（若竹 千佐子著：河出書房新社）

孤独と自由、自分を知る楽しさ、家族の形、ひとりで生きること…。夫を亡くし、63歳で主婦から作家になり、「おらおらでひとりいぐも」で芥川賞を受賞した著者が、書いて考えて辿りついた、台所目線の哲学。

▽**私の最後の羊が死んだ**（河崎 秋子著：小学館）

なぜ羊飼いという職業に就き、順調においしい肉を生産していたのにやめる決断をしたのか。直木賞作家が、最初の1頭を飼ってから最後の1頭の出荷を見届けるまで、「小説家前夜」の日々を綴る。

こどもの本

◎環境問題・社会・ボランティア

▽**読書バリアフリー 2 LLブック、オーディオブック、電子書籍ほか だれもが「本を読める」社会へ**（白坂 洋一監修：汐文社）

視覚障害、アーレンシンドロームなど、さまざまな理由で本を読むことが困難な人たちのために工夫されたバリアフリー図書や設備・道具を紹介。2は、LLブック、オーディオブック、マンガ、電子書籍を取り上げる。

▽**ざんねん?びっく!文房具のひみつ事典**（ヨシムラ マリ著、高畑 正幸監修：講談社）

文房具はだれが最初に作ったの? 昔の人はどんなものをつかっていた? しくみはどうなっている? 鉛筆やカッター、のり、紙、計算機など、私たちに馴染み深い文房具の成り立ちや、進化のウラ側などを紹介する。

◎図鑑

▽**せかいの国鳥にっぽんの県鳥**（小宮 輝之監修、ポンプラボ編集：カンゼン）

世界各国の「国鳥」を通して、生息環境をはじめ生態などその鳥の特徴とともに、その国で親しまれてきた歴史、社会文化との関わりなどを紹介。日本 47 都道府県+市区町村のシンボル鳥も掲載する。

▽**ブリタニカビジュアル大図鑑 BRITANNICA BOOKS**

（アンドリュース・ペティ編、武田 知世訳：NHK 出版）

サイエンスとアートが融合した、児童向けビジュアル図鑑。宇宙・地球・生物・人体・現代社会などの知識や情報を、データを絵に変換した「インフォグラフィック」を駆使し、一目でわかるように解説する。

▽**かぶとむし**（海野 和男写真：ポプラ社）（はじめてのミニずかん 7）

知的好奇心を広げる、乳幼児向け図鑑シリーズ。カブトムシ、ヘラクレスオオカブト、ゾウカブト、ノコギリタテヅノカブトなど、大きな角をもつかぶとむしを、豊富な写真とともに紹介する。

▽**くわがたむし**（海野 和男写真：ポプラ社）（はじめてのミニずかん 8）

知的好奇心を広げる、乳幼児向け図鑑シリーズ。ノコギリクワガタ、オオクワガタ、オオヒラタクワガタ、アルキデスヒラタクワガタなど、世界中にいる様々な形や色のくわがたむしを、豊富な写真とともに紹介する。

◎日本の作品

▽**くいしんぼうのクララ**（なかがわ ちひろ作・絵：徳間書店（やまの動物病院 3）

まちの動物病院で暮らす大きなねこのとらまるは、山の動物たちのお医者さん。夜になると、こっそり「やまの動物病院」を開く。ある晩、まちの先生の患者のやぎのメリーと牛のクララが“急患”でやってきたが…。楽しいお話。

▽しじんのゆうびんやさん (齊藤 倫作, 牡丹 靖佳画: 偕成社)

郵便局で働くガイトーとトリノス。一度も手紙をもらったことがないという灯台守のじいさんにガイトーが手紙を書き、トリノスが配達するが、そこには詩が書かれていて…。小さな街の人々の心を動かす、ふしぎな手紙の物語。

▽ふしぎな図書館とクリスマス大決戦

(廣嶋 玲子作, 江口 夏実絵: 講談社 (ストーリーマスターズ 6))

仲間の守を救うため、魔王グライモンの城にしのびこんだ宗介、葵、ひなたの3人。おりしも今日はクリスマス。なぜかプレゼントの箱に襲われ、散り散りになってしまった3人は無事、守を救えるのか?

▽ゆうやいトンボジェット (吉野 万理子作, 村上 幸織絵, 二橋 亮監修: くもん出版)

飛行機が好きで、仲間から変わり者だと思われるトンボのジェット。1匹のテントウムシと出会い、話しているうちに、ジェット機になってお客さんを運ぶことを思いつき…。大空を舞台にした、昆虫たちの友情と冒険の物語。

▽いかだネコG氏12のぼうけん (山下 明生作, 高畠 那生絵: あかね書房)

瀬戸内海の島の入り江に浮かぶ、コップ養魚天国。若き社長が始めたばかりの養殖場で、ネコのG氏が唯一の社員です。初めてのタイの出荷まで、もうすぐ。大切なタイを無事に出荷するまで、人間もネコも大忙し!

▽銀樹 (森埜 こみち著, 日下 明絵: アリス館)

家族をなくしたシンは、朽葉の里の薬師・マボウと共に、山奥で生活することに。ある日、都の薬師が、銀樹の秘薬を求めてやってくるが…。なんとか道を見いだそうとする人々の姿を描く。

◎外国の作品

▽ほくたちは宇宙のなかで (カチャ・ベーレン作, こだま ともこ訳: 評論社)

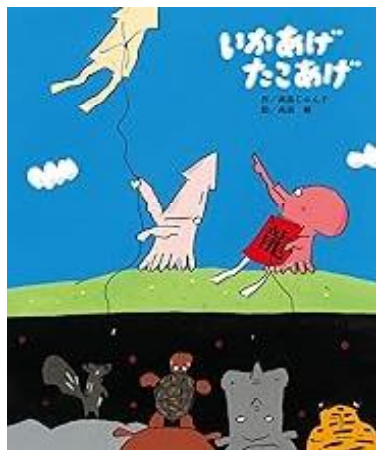
フランクは10歳。5歳の弟マックスは、気に入らないことがあると暴れて叫びだす。フランクはマックスを弟と思いたくなくて…。ぶつかり、傷つきながら“家族という宇宙”のなかで生きていく兄弟を描く感動の物語。

▽ダンス★フレンド (カミラ・チェスター作, 櫛田 理絵訳: 小峰書店)

場面かんもく症のため、家族としかしゃべれないレオ。ところが、となりの家に引っ越してきたリカは気にせず話しかけてくる。「リカとなら友だちになれるかも」と勇気を出して、しゃべれないわけを手紙に書くが…。

◎日本の絵本

▽いかあげたこあげ (高畠 じゅん子作, 高畠 純絵: 偕成社)



イカがたこあげをしていたら、タコに「そのイカ、たこあげするな」と怒られました。イカが「これは、いかあげですよ」と答えたら…。イカとタコの「たこ」をめぐるナンセンスな会話劇。

▽ おせち （内田 有美文・絵，満留 邦子料理，三浦 康子監修：福音館書店）



黒豆、数の子、なます、昆布巻き、伊達巻、松風焼き…。日本の伝統食であるおせち料理を紹介しながら、そこに込められた願いをリズムカルなことばで伝えます。

▽ こいぬのがっこう （きたむら さとし作：岩波書店）



ルーシーが学校へいっているあいだ、いぬのぼくはお留守番。でも今日、初めてこいぬの学校にいったんだ。からだの掻きかた、あいさつのしかた…。たくさん習ってたくさん覚えたそのあとにハラハラドキドキの冒険が待っていた！

▽ ノラネコぐんだんピザをやく （工藤 ノリコ著 白泉社）



ここはワンワンちゃんのピザの店。ワンワンちゃんの配達中に、店に入り込んでピザづくりに励むノラネコぐんだん。一方、ワンワンちゃんがピザを配達したお客さんの正体は…。

▽ ぼくがここに （まどみちお詩，きたむら さとし絵：理論社）



なにかがいてる。なにかがある。それだけのこと。そこにいてる。そこにある。すべてのものがとてもたいせつ…。100年をみつめてきた詩人、まど・みちおの代表作の宇宙的スケールを、画家、きたむらさとしが描き出す。

▽ミーコ （長谷川 義史作：講談社）



ぼくのうちで、猫を飼うことになった。名前は「ミーコ」。かわいらしい猫だけど、ほかの猫とちょっとちがって…。ちいさな生きものとの出会い、そして別れを描いた、著者の自伝的絵本。

◎ 外国の絵本

▽糸をつむいで世界をつないで

（ケイティ・ハウズ文，ディナラ・ミルタリポヴァ絵，中野 怜奈訳：ほるぷ出版）



布には世界が織りこまれてる。はた織りの音がうたうのは、人のつながり、そのぬくもり。世界中で手から手へと受け継がれてきた織物の歴史を、美しい絵とリズムカルな言葉で伝える。

▽空はみんなのもの

（ジャンニ・ロダーリ文，関口 英子訳，荒井 良：ほるぷ出版）



空って、みんなの空だよね。だれの目にだって、どこまでもひろい空がうつるもの。でも、どうして大地はさかいめだらけなんだろう？ イタリアの国民的な作家ロダーリが軽やかな言葉でつづる、平和を問う絵本。

▽めすまれたねむねむ (アネテ・メレツェ作, 椎名 かおる訳: あすなろ書房)



もう寝る時間。だけどステラはちっとも眠くなりません。パパにたくさん本を読んでもらっても、眠れません。眠りを誘う「魔法の粉」が盗まれたのか? さて、犯人は…? ラトビア生まれの楽しい絵本。

▽はじめまして、サンタさん (ジャーヴィス作, まきもり れい訳: 岩崎書店)



サンタさんがわたしのおうちにきた。お手紙読んでくれたの? サンタさんは、わたしのおじいさんよりおじいさん? あのね、おねがい。いっしょに、サンタさんのおうち、行ける? クリスマスの絵本。

▽ゆきのもりのおくいもの (リンデ・ファース文・絵, 西村 由美訳: 岩波書店)



もうすぐクリスマス。でも、パパは大忙しで、ソフィーはひとりぼっち。クリスマスの朝、すてきなことを探しに出かけると、ふぶきの中に一頭のヘラジカが現れて…。オーロラゆらめく北欧の冬の、心あたたまるお話。

開館時間

(12月～3月)

▽ **午前10時～午後6時 (日曜・祝日は、午前9時～午後5時)**

(4月～11月)

▽ **午前9時～午後7時 (日曜・祝日は、午前9時～午後5時)**

令和6年度 休館日

▽ **毎週 火曜日**

▽ **毎月 第3日曜日**

▽ **毎月 月末整理日 (月末が火曜日等で休館の場合、その前日)**
(12月は28日、3月は30日)

▽ **年末年始 (12月29日～1月3日)**

▽ **蔵書点検日 (3月2日～8日)**

▽ **年度末整理日 (3月31日)**

▽ **8月3日 (夏祭り里庄開催日)**

▽ **11月3日 (産業文化祭開催日)**



里庄町立図書館キャラクター

里庄町イメージキャラクター

ふくちゃん & 里ちゃん

**里庄町立図書館ニュース
No. 380 2025. 1. 1
岡山県瀬口郡里庄町里見2621
電話 0865-64-6016**